

# 空母ロナルド・レーガンと空母艦載機の動向

## 空母と艦載機の動き

米海軍の空母ロナルド・レーガンは、昨年12月3日に横須賀へ入港しました。空母の入港中、大和市民は厚木基地を拠点として離着陸する空母艦載機の甚大な騒音に悩まされました。

今年4月26日、防衛省は、5月3日～13日に硫黄島で空母艦載機の着陸訓練を実施すると公表。また、5月24日には、硫黄島で追加的な着陸訓練を実施するため5月27日～6月1日に日程を延長すると公表しました。これらの公表では、硫黄島の天候などの事情により所要の訓練が実施できない場合は、厚木基地においても訓練を実施するとされていきました。このことから、大木大和市長はそれぞれの訓練が公表された4月26日と5月24日、厚木航空施設司令官ジョン・F・ブッシー大佐および国に対し、騒音被害に日々苦しむ市民の状況を十分に認識し、決して厚木基地で着陸訓練を実施しないよう強く要請しました。

結果として、すべての訓練が硫黄島で実施され、厚木基地で実施されることはありませんでした。硫黄島での訓練終了後の6月4日、



大和市上空を飛行する空母艦載機

空母ロナルド・レーガンは横須賀を出港しましたが、6月8日には午後10時を過ぎてからの艦載機の飛行がありました。深夜の飛行は、市民生活に多大な影響を及ぼすことから、市は米軍に対し深夜の飛行を行わないよう強く申し入れました。市は今後も、県や基地周辺市と連携しながら、決して厚木基地で着陸訓練が実施されることのないよう、引き続き米軍と国に対し働きかけしていきます。

## 移駐協議会が開催

5月25日に、「厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会」が開催されました。

この協議会は、2014年までに完了するとされていた厚木基地から岩国基地への空母艦載機の移駐が、2017年頃までに延期されるとの国の発表を受け、移駐の進捗状況などを確認、協議するために、本市をはじめ厚木基地周辺9市及び県、国が発足させたものです。6回目となる今回の協議会では、その席上、土本英樹南関東防衛局長から移駐先の施設整備が着実に進捗しているなどの説明がありました。市は、一日も早い空母艦載機移駐の実現を求めるとともに、移駐の具体的なスケジュールや移駐後の負担軽減の見通しなどを早急に示すよう改めて国に求めました。

市は、今後も厚木基地に起因する諸問題の解決に向けて取り組んでいきます。

■ 閩市役所基地対策課基地対策担当  
☎(260)5310 FAX(260)5316

# 人権に関する相談は人権擁護委員へ

市内では、法務大臣から委嘱された12人の人権擁護委員が、嫌がらせやセクハラ、パワハラ、いじめ、体罰などの人権に関する相談に応じています。相談は無料で、秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

## ■市内の人権擁護委員

▽7月15日現在・敬称略

鏡絹子(林間)、山崎トク(中央)、二見武(桜森)、長谷川房代(下鶴間)、関水貴浩(福田)、山下徳法(上和田)、渡辺勝之(西鶴間)、古賀和子(下鶴間)、田邊利保(渋谷)、鈴木トシ子(上草柳)、関根孝子(つきみ野)、高橋久雄(深見)。

## ■定例相談をご利用ください

とき▼毎月第2・4木曜日午後1時30分～4時(祝日を除く)

ところ▼市役所市民相談課相談室。



■ 閩市役所国際・男女共同参画課国際・男女共同参画担当☎(260)5175 FAX(263)20080